

(添付資料)

2. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社は、次のような社憲や経営理念を掲げて、持続的に社会の発展に貢献することを目指しております。

<社憲> 「われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう」

<経営理念> ・顧客満足の最大化 ・たえざるチャレンジ
・株主からの信頼重視 ・個人の尊重
・良き企業市民の実践 ・倫理性の高い企業活動

日本のみならず海外の株主、投資家、顧客、取引先、地域社会、社員などさまざまなステークホルダーの皆様、グローバルな視点からみても、当社の活動に対して、ご理解、ご支援いただけるよう努力しております。そのためには、経営情報の開示など透明性を高める経営を行い、持続的な成長を続けることによって、皆様の期待に応えていきたいと考えております。

(2) 利益配分に関する基本方針

利益配分に関する基本方針は、従来どおりの方針を維持していきます。すなわち、財務体質の強化を続けながら適正に還元していくことが、株主の皆様からの信頼を得るうえで重要と考えております。そのため、1株当たりの配当額のみならず、株主資本に対する配当率を考慮する配当政策を基本にして、株主資本に対する利益率の向上に努めてまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略や経営管理組織の整備に関する施策

平成12年度よりの2年間を第8次中期経営計画の期間とし、「選択と集中の継続実行による企業価値の向上」を主題とした戦略を立案し、展開しております。この中期計画では、企業価値の向上を目指すとともに、“利益”を過去最高水準へ復帰させることに最注力することをその内容としております。

平成11年度より導入したカンパニー制のもと、将来の成長のための新規・拡大分野への投資を全社的な視点から行ないつつ、各カンパニーごとの事業運営の成果をあげるべく、海外市場での事業展開強化・他企業との提携連携による事業強化・国内外での生産性向上などに取り組んでおります。

平成12年度は、これら取り組みとともに、年度半ばまでの世界的規模での経済の堅調さを受け、連結当期純利益では、過去最高益を更新することができました。平成13年度については、厳しい環境と予想されますが、生産性向上など構造改革のための各企業による投資を当社の事業拡大の機会ととらえつつ、これまでの収益向上施策をさらに強化し、収益構造を固め、連結税引前純利益で過去最高額の更新を目指します。

また、2010年までの21世紀初頭10年間を対象に、オムロングループの「ありたい姿」および「そこに至る経営施策の基本方針」を示した「グランドデザイン2010(以下、GD2010)」を策定いたしました。このGD2010では、「企業価値の長期的最大化」を経営目標として掲げております。そして、より強い企業体質づくりを目指し、自らの変革の方向性を示した「企業変革ビジョン」、「オムロン」をより理解いただくために当社がこだわり続け強化していくものを示した「アイデンティティビジョン」、そしてその具現化を支える各事業ごとの「カンパニービジョン」の3つのビジョンを示し、それらを実践することで、「企業価値の長期的最大化」を実現してまいります。

(4) 会社の対処すべき課題

環境への取り組みは、従来からの重要課題として推進しており、開発・生産・流通などのあらゆる事業活動を対象に、関係するお取引先様等のご支援をいただきながら、環境負荷の低減に取り組んでいます。国際規格「ISO14001」の認証については、生産拠点での取得に加え、オフィス・研究所での取得に向けて取り組んでおります。

(5) 目標とする経営指標

当社は、GD2010において、株主資本当期純利益率(ROE)を経営指標とし、ROE10%程度を目指し、業績向上に努力してまいります。